



カレイド

CALEIDO/SYSTEM20

FPCP-Z9814・Z9101
FPCP-Z9610・Z9051
FPCP-Z9052・Z9013
FPCP-Z9065・Z9821
FPCP-Z9819・Z9817
FPCP-Z9820・Z9803
FPCP-Z9804・Z9806

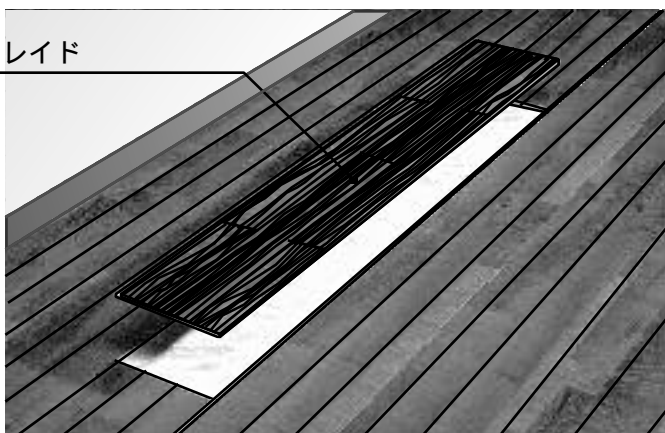
取扱説明書・施工説明書

このたびは、お買い上げいただき
ありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになって、
正しく又末永くお使いください。

取扱説明書は、いつでも見られる場所に
必ず保管し、必要な時にお読みください。

カレイド



もくじ 取扱説明書

安全上のご注意	-----	1
お手入れ方法/アフターサービスについて	-----	2

施工説明書

安全上のご注意	-----	3
施工前の確認/施工にご用意いただく物/仕様	-----	4
施工方法(捨て張り工法)	-----	5
施工方法(直張り工法)	-----	6
施工後の点検・清掃・養生	-----	裏表紙

取扱説明書

安全上のご注意

必ずお守りください

取扱いについて

ここに示した注意事項は、

守らないと人身事故や、家財の損害に結び付くものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



この表示の欄は「障害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。



この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。



洗剤・ワックス・その他の薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって正しくお使いください。



使い方を誤ると人体に悪影響を及ぼしたり、変質・変色の原因になることがあります。

お手入れ方法

【カレイド】

1 日常のお手入れ

通常のお手入れは、乾いた布等でカラ拭きしてください。汚れは、中性洗剤をスポンジに付けて落とし、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布でから拭きしてください。

水等で濡れた場合は、すぐに拭き取ってください。水に濡れたまま放置しておきますと、表面の白化やシミ、変色の原因となります。

化学雑巾ご使用の場合、水漏れ箇所等に使用しないでください。フロアが変色する恐れがありますので、化学雑巾の使用方法に従ってお使いください。

クレヨン、マジック、水性インク等で汚れが付いた場合は、アルコールまたは、ベンジンを含ませた布で軽く速やかに拭き取ってください。

シンナーは、表面の被膜をいためるので使用しないでください。

2 ワックス掛けをする場合

ワックス掛けは、それぞれの説明書にしたがって正しくお使いください。

ワックスの種類は、滑り止め剤入り塗装木質床用と表示されたものをご使用ください。

3 家具、重量物等の設置移動について

車輪が金属のキャスターのご使用は床材表面をいためますので、避けてください。

冷蔵庫、ピアノなどの搬入、移動などに際して表面を傷つけないよう気をつけてください。

ピアノなどの重量物を置く場合には、脚部に板を敷くなどして保護してください。

テーブル、イス等の足には、ゴムキャップやフェルト等を付けて床にキズが付かないよう注意してください。

4 電気カーペット、暖房器具等の使用について

電気カーペット使用の場合は、熱や乾燥による床表面のヒビ割れや、床材継目の隙間発生防止のため、温風や輻射熱が直接床面に当たらないよう、カーペット等を敷いてご使用ください。

5 直射日光などに対して

直射日光、雨水の吹き込みなどにはご注意ください。変色、シミ、ヒビ割れなどの原因となります。直射日光などは、なるべくカーテン、ブラインド等でさえぎってください。

アフターサービスについて

この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき異常のあるとき、又はお気づきの点がございましたら、工事店・販売店、又はトーヨーキッチンお客様相談室にお問い合わせください。

ご連絡して頂きたい内容 ご氏名 ご住所 電話番号 お買い上げ日 異常の内容 品番

製品の保証期間はご購入後、取扱説明書にしたがって正常な使用状態において1年間です。

施工説明書

安全上のご注意

必ずお守りください

施工の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



注意

この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。



この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

施工工事完了後、説明書の内容にしたがって各部の点検を行い、異常の無い事を確かめてください。

この「取扱説明書・施工説明書」は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、施工完了後、お引き渡し時にお客様にお渡しください。



注意

施工は、建築床の構造を確かめて正しく行ってください。



施工を誤ると、反り・ふくれ等により思わぬけがをする恐れがあります。

工事完了後は、接着不良・反り・ふくれ等が無いことを必ず確認してください。



施工に異常があると、使用中に思わぬけがをする恐れがあります。

施工前の確認

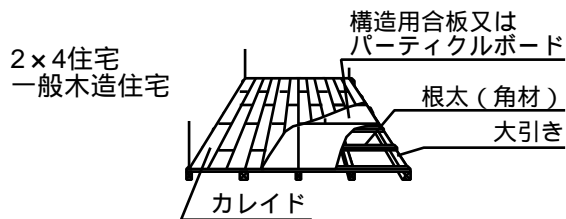
- ① 直射日光や雨を防ぎ、高温多湿でない、風通しの良い場所に水平に置いて保管してください。
- ② 捨張り下地について
 - ・捨張り用下地材は、必ず12mm厚以上の構造用合板又は、15mm厚以上の耐水性パーティクルボードを使用してください。
 - ・下地材の表面は、平滑に仕上げ、段差のある場合は、サンダー等で平らにしてください。又、ゴミやほこりは、除去してください。
 - ・下地材と根太の間に隙間があると踏み鳴りが発生する恐れがありますので、下地材は、接着剤と釘を併用して根太に確実に固定してください。
 - ・床下は、通風を良くしてください。

③ 施工方法について

「捨て張り工法」・「直張り工法」のどちらでも対応できます。

捨て張り工法

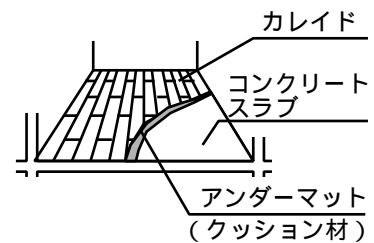
床組の上に構造用合板やパーティクルボードなどを貼り、その上にカレイドを接着剤を使用して貼る方法です。



直張り工法

コンクリートなどの平滑な床に接着剤を使用し直接貼る方法です。

マンション・
集合住宅・
店舗・事務所

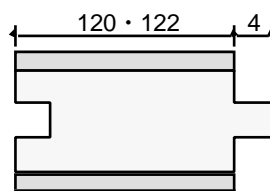


施工にご用意いただく物

- ・ 固い木製ブロック
 - ・ 電動ノコギリ (目の細かいもの)
 - ・ かなづち
 - ・ ノコギリ
 - ・ メジャー
 - ・ 接着剤 (アクリルエマルジョン系、ウレタン系、エポキシ系)
- アクリルエマルジョン系は、捨て張り工法のみ

仕様

カレイド/システム20	FPCP-Z9814 · Z9610 · Z9051	・ 1箱24枚入り2.07m ²
	FPCP-Z9052 · Z9013 · Z9065 · Z9821	・ 1枚 サイズ120mm × 720mm (木目、単色)
	FPCP-Z9819 · Z9817 · Z9820 · Z9803	サイズ122mm × 720mm (2色ストライプ)
	FPCP-Z9804 · Z9806 · Z9101	・ 厚み12mm
		・ 重さ6.58kg / 1m ²



施工方法（捨て張り工法）

① 仮並べ

- ・梱包を解き、仮並べをして、全体に色調のバランスがとれるように配置してください。

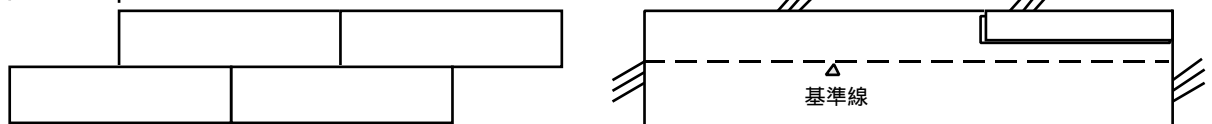
② 割付け・墨出し

- ・仕上がり後のバランスを考慮して割付けを行ない、貼り始める基準線の墨出しをしてください。

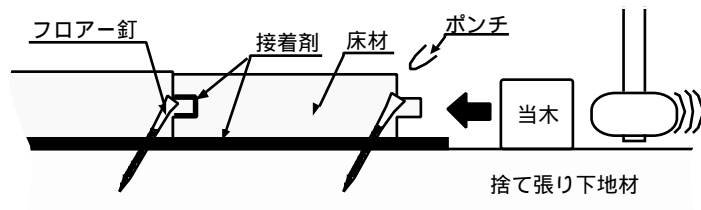
③ 張り込み（捨て貼り用下地材への固定）

- ・張り込み順序は、オスザネ側を手前にして、壁に向かって右隅側より施工します。
- ・一列おきにずらして張り込んでください。

150mm以上
ずらす

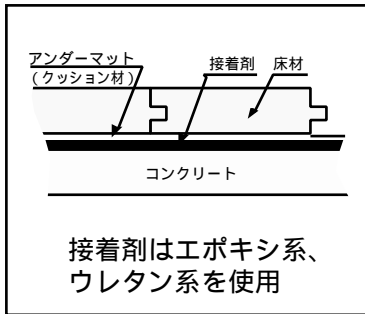


- ・張り込みは、接着剤を下地前面にくしべらを使用し、波形に塗布します。床材のオスザネ側をフロー（スクリー）釘又はタッカーで固定（150mmピッチ程度）し、順次張り込みます。このとき、床材のサネ（木口）にも接着剤を塗布します。
- ・釘打ち角度は45度が最適です。釘頭は、ポンチでオスザネの中に埋め込んでください。
- ・床材のメス・オスザネのはめ込みは、直接金づちでたたかず、必ず当て木をしてください。



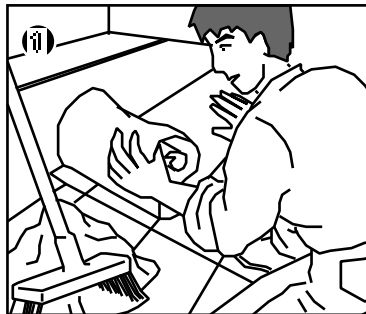
接着剤は、アクリルエマルジョン系、ウレタン系、エポキン系を使用

施工方法（直張り工法）

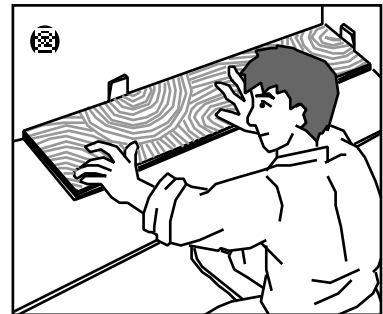


接着剤はエポキシ系、ウレタン系を使用

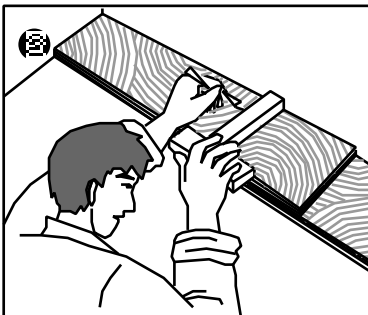
アンダーマットを使用しない場合は、②から施工してください。



下地が汚れていないか、濡れていないかを確認してください。アンダーマットを敷き耐湿性のテープで継ぎ目を合わせて貼ってください。



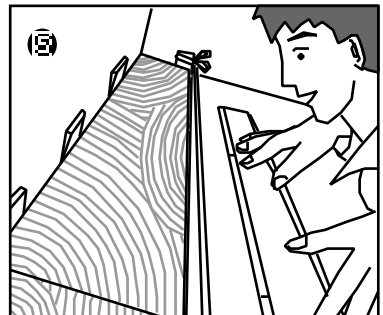
最初の板は溝のある方を壁に向けて敷きます。その時、壁との間にパッキンをいれて2~3mmの隙間を開けてください。



列の最後の部分を測るときは、先に敷いた板の上に裏返して乗せ、凸の部分が反対側に来るようにします。TまたはL型の定規を使って線を引きます。



手ノコギリで切る場合は表を上、電気ノコギリを使用する場合は表を下にして切ってください。



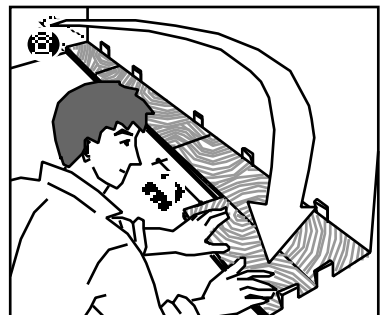
板がまっすぐに敷かれているかどうかを確認するために、板のラインに沿って糸を引っ張ってください。適当なパッキンを壁との間に入れることで、たわみを調整できます。



接着剤を付けるときは、先に短い辺に付けて下さい。



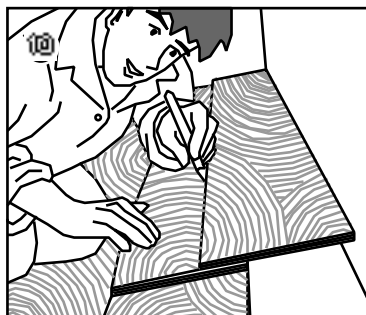
第2列目は第1列目の残りを使用して敷いて下さい。継ぎ目と継ぎ目の間は150mm以上離してください。



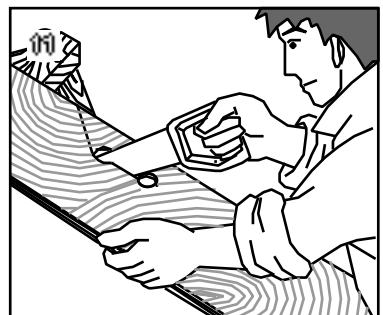
次に長い辺の溝に付けます。はみだした接着剤は湿った布で拭き取って下さい。



板をきれいに合わせるため、当て木をして溝の凸部が傷まないようにたたき、継ぎ目をキチンとしてください。



最後の列を敷くときは、端の板を先に敷いた物の上に置き、もう一枚の板の凸部を壁に向けて置き線を引いてください。



特別な切れ目を入れるときは、R6以上の穴を開けてから両サイドからノコギリをいれてノミか糸ノコギリで切ってください。物やパイプ等の周りにもクリアランスを取ってください。

施工後の点検・清掃・養生

- ・「安全上のご注意」及び説明書の内容通り施工されているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。
- ・表面の汚れ、ほこりをふき取りながら、傷などの損傷が無いかを調べてください。
- ・清掃後、合板・ダンボール・養生シート等ですき間なく表面を保護してください。
- ・養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープ等を使用してください。
市販のガムテープ等は、使用しないでください。
- ・養生シートを外す時は、止めているテープをゆっくりと剥がしてください。
急激に剥がすと床面を破損することがあります。



トヨー工業株式会社

〒501-3295 岐阜県関市下有知6315-1
電話 0575 (22) 1234 (代)

Design Quality Function

TOYO KITCI IN

トヨー工業株式会社

お客様相談室 0120-104078

〒107-0062 東京都港区南青山5-11-14